

タイトル	「第3次伊豆の国市総合計画 前期基本計画」の策定について
担当課	企画財政部 企画課 担当：石井・三須 (電話：055-948-1413 内線：2312)

1 要旨

本市の総合的かつ計画的なまちづくりを進める最上位計画として、「第3次伊豆の国市総合計画 前期基本計画」を策定した。

2 概要

(1) 計画の位置付け

基本構想（将来像・基本目標）に基づき、今後4年間の具体的な取組を示すもの。

(2) 計画期間

- ・総合計画：令和8年度～令和15年度（8年間）
- ・前期基本計画：令和8年度～令和11年度（4年間）

(3) 計画の骨子

将来像に掲げる「歴史が息づき、未来にわたり誰もが幸せに暮らせるまち 伊豆の国」に基づき、市民一人ひとりがウェルビーイングを実感できるまちの実現に向け、4つの基本目標のもと18の政策分野で政策を整理した。あわせて、SDGs・DX・GXを全庁的な横断的視点として位置付け、持続可能なまちづくりを推進する。

(4) 市民意見の反映

一般市民及び中高生向けのアンケートや市民ワークショップ等により意見を広く聴取するとともに、伊豆の国市総合計画審議会における審議を経て計画に反映した。

3 その他

国の地方創生に関する動向を踏まえ、人口減少対策と地域活力の維持及び向上を図る「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略」をあわせて策定し、前期基本計画を牽引する重点戦略として、一体的に推進する。

第3次伊豆の国市総合計画前期基本計画 体系図

令和8年2月20日 市長定例記者会見参考資料

本市では、令和8年度（2026年度）を初年度とする今後8年間（2026～2033年度）の市政運営の最上位計画として、「第3次伊豆の国市総合計画」を策定しました。

令和7年（2025年）4月1日制定の伊豆の国市民憲章の理念を継承し、新たに「ウェルビーイング（幸せの実感）」の視点を位置付け、将来像の実現を通じてウェルビーイングの向上を図り、持続可能なまちづくりを推進します。

基本構想では、将来人口などの見通し（将来フレーム）を定める考え方を踏まえ、市の人口ビジョンに準拠して2060年の目標人口28,723人を長期目標として掲げ、計画の将来フレームとして位置付けています。

本体系図は、前期基本計画（2026～2029年度）で推進する施策体系を整理したもので、SDGs・DX・GXを横断的視点として各施策に反映します。

